

令和7年度

(2025)

博士課程

Doctoral Program

学 生 便 覧

Student Guide

信州大学大学院総合医理工学研究科

Graduate School of Medicine, Science and Technology

医学系専攻 医学分野

Department of Medical Sciences Medical Science Division

生命医工学専攻（4年制コース）

Department of Biomedical Engineering (4-year course)



SHINSHU
UNIVERSITY

この学生便覧はあなたが修了するまで適用されます。

紛失することのないようにしてください。

目次

1.	信大コンピテンシー	3
2.	信州大学の理念と目標	3
(1)	信州大学の理念	3
(2)	信州大学の目標	3
3.	総合医理工学研究科の教育・研究の目標	4
4.	「学位授与の方針」（ディプロマポリシー）	5
(1)	信州大学大学院	5
(2)	総合医理工学研究科	5
5.	「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラムポリシー）	6
(1)	大学院課程における教育課程編成の方針	6
(2)	総合医理工学研究科	6
6.	総合医理工学研究科の構成	8
(1)	医学系専攻 Department of Medical Sciences	8
(2)	総合理工学専攻 Department of Science and Technology	8
(3)	生命医工学専攻 Department of Biomedical Engineering	9
7.	事務窓口	10
8.	学修について	10
(1)	修了要件	10
(2)	早期修了	10
9.	在学期間	10
(1)	進 級	10
(2)	研究指導体制	11
10.	授業の履修について	11
(1)	授業日程	11
(2)	授業時間帯	11
(3)	履修について	15
(4)	履修登録手順	16
11.	成績の認定	16
12.	他の大学院等における研究指導について	17
13.	学位論文の審査について	17
14.	授与される学位について	17
(1)	学位の種類	17
(2)	学位に付与する名称	17
(3)	学位論文の公表	17
15.	学修関連のシステム・情報	18
(1)	ポータルサイトACSU（握手）	18
(2)	シラバス	18
16.	学生生活にあたって	19
17.	身分異動	19
(1)	休 学	19
(2)	復 学	20
(3)	退 学	20

(4) 除 籍	20
(5) 転専攻	21
(6) 留 学	21
(7) その他	21
・ 住所変更等の届け出	21
・ 海外渡航届け出	21
・ 指導教員を変更する場合	21
・ 本学における学籍上の氏名、性別などの取扱について	21
18. 学生証	21
19. 証明書等の発行	22
20. 学生旅客運賃割引証の発行	23
21. 学研災・学研賠	23
(1) 学生教育研究災害傷害保険	23
(2) 学研災付帯賠償責任保険	23
(3) 東京海上日動火災保険（株）が窓口となっている保険	23
(4) 大学生協が窓口となっている保険	23
22. 授業料の納付について	24
23. 授業料免除・徴収猶予	24
24. 奨学金・その他の経済的支援	25
(1) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金	25
(2) 日本学生支援機構以外の奨学金	25
(3) 留学生に対する奨学金等の制度について	25
25. 一般的な学生生活上の相談について	25
(1) メンタルヘルス相談について	25
(2) 教育問題相談窓口について	25
○ 学生相談センター	25
○ イコール・パートナーシップ委員会	26
26. 図書館	26
27. 健康管理	26
(1) 健康診断	26
(2) 禁煙	26
(3) AED（自動体外式除細動器）	26
28. 安全管理	27
(1) 建物への入棟について	27
(2) 駐車場利用について	27
(3) 事件・災害時	27
29. 開設科目	31
(1) 研究科共通科目について	31
(2) 医学系専攻医学分野開設科目一覧	32
(3) 生命医工学専攻 4 年制コース開設科目一覧	36
履修プロセス概念図	38
医学系専攻医学分野	38
生命医工学専攻 4 年制コース	39
学年歴	40
規則・規定	41

1. 信大コンピテンシー

令和5年12月20日

『信大コンピテンシー』 — 未来を共創するために —

学長 中村 宗一郎

■信州で学生・教職員が未来を共創するためのバックボーン

信州大学は、創設時から70年以上今日まで信州の豊かな自然のなかで、その歴史と文化・人々の営みに寄与し、信州と共に歩み続けています。

これまでの歩みが持つ意味・意義を自覚し自信と誇りとし、これからの豊かな地域・我が国、そして世界に向かって、本学の学生・教職員の皆さんが、この信州で「縁」あって共に在ることの意味・意義、バックボーンが必要とされています。

■『信大コンピテンシー』について

「信州大学の理念」(<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/philosophy/mission/>)を集約する形で、このたび『信大コンピテンシー』を次のように決めました。

【信大コンピテンシー】

信州という美しい環境で、人を敬い自然を愛しつつ、豊かな未来を切り拓く力を身につけている。

■『信大コンピテンシー』は、大学での営み全体を通じて育まれます！

信大コンピテンシーは、大学における全ての営みを通じて育まれるものです。学生の皆さんでしたら、授業を中心とする学修はもちろん、課外活動や学外での活動などを通じて育まれます。教職員の皆さんでしたら、大学での様々な取組みを通じて育まれます。

信州大学に集う学生・教職員の皆さんが、豊かな未来を共創するために、本学での全ての営みを通じて、『信大コンピテンシー』を育んでくださることを期待しております。

2. 信州大学の理念と目標

(1) 信州大学の理念

信州大学は、信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。

信州大学は、その知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成と活性化に奉仕します。

信州大学は、世界の多様な文化・思想の交わる場所であり、それらを理解し受け入れ共に生きる若者を育てます。

信州大学は、自立した個性を大切にします。

信州大学で学び、研究する我々は、その成果を人々の幸福に役立て、人々を傷つけるためには使いません。

(2) 信州大学の目標

信州大学は、その存立の理念に基づき、教育・研究・地域貢献・国際交流において次の目標を掲げます。

（教 育）

かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てます。

（研 究）

人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進し、その成果を地域と世界に発信し、若い才能を引きつける研究環境を築きます。

（地域貢献）

信州の自然環境の保全、歴史と文化・伝統の継承・発展、人々の教育・福祉の向上と産業発展の具体的課題に貢献するため、大学を人々に開放し関連各界との緊密な連携・協力を進めます。

（国際交流）

諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、世界に開かれた大学とし、信州の国際交流の大きい推進力となります。

3. 総合医理工学研究科の教育・研究の目標

本研究科は、本学の教育・研究の理念に基づき、信州の豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた大学院として、それぞれの専門分野において社会に資する有為な博士人材を育成するための教育・研究を推進する。

本研究科は、医学、理工学から生命医工学にわたる幅広い学問分野を網羅する利点を生かして、専門研究分野における深い知識・卓越した技能に加えて、専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力と健全な倫理観を兼ね備えた博士人材を養成することを教育・研究の目標とする。

4. 「学位授与の方針」（ディプロマポリシー）

（1）信州大学大学院

信州大学大学院では、俯瞰力と独創力を備え、持続可能な価値社会を創造する質の高い高度専門職業人や、先端的研究を推進する人材を養成するために、以下のように各課程の学位授与方針を定める。

1. 修士課程にあっては、広い視野に立って精深な学識を持ち、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を修得している。
2. 博士課程にあっては、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を修得している。
3. 専門職学位課程にあっては、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を修得している。

（2）総合医理工学研究科

総合医理工学研究科は、本学の理念と研究科の教育目標に則り、以下の知識と能力・技能等を十分培い、かつ、専攻ごとに定められた学位授与方針に合う知識と能力・技能等を有する学生に「博士」の学位を授与する。

1. 専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力。
2. 高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観。

（医学系専攻）

医学系専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、以下の知識と能力等を充分培い、かつ分野ごとに定められた学位授与方針に合う知識と能力等を有する学生に医学分野では「博士（医学）」、保健学分野では「博士（保健学）」の学位を授与する。

1. 医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能。
2. 医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力。
3. 医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力。

（生命医工学専攻）

生命医工学専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、以下の知識と能力等を充分培い、かつ、分野ごとに定められた学位授与方針に合う知識と能力等を有する学生に3年制コースでは「博士（医工学）」、4年制コースでは「博士（医学）」の学位を授与する。

1. 医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能。
2. 医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力。
3. 医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力。

5. 「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラムポリシー）

(1) 大学院課程における教育課程編成の方針

1. 信州大学大学院は、研究科及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成します。
2. 信州大学大学院は、教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮します。

大学院課程における教育課程実施の方針

1. 信州大学大学院は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、コースワークを充実させ、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行います。また、各研究科の「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示します。
2. 信州大学大学院は、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、授業時間外の多様な学修研究機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学大学院は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。
4. 信州大学大学院は、修士課程及び博士課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行います。

(2) 総合医理工学研究科

総合医理工学研究科は、本学の理念と研究科の教育目標に則り、医学系、理工学系及び生命医工学分野の高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施する。

1. 本研究科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるための体系的な教育課程を編成する。
3. 専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力を修得させるための研究科共通科目、専門性を高めながら、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力、専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を見出す応用力を修得させるための専攻共通科目等を開講する。
4. 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点する

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定する
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定する
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定する。

5. 博士学位論文審査体制を充実させ、厳格で透明な論文審査を行い修了判定を実施します。

（医学系専攻）

医学系専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、医学・保健学における高度専門職業人、研究者に必要とされる世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施する。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門知識と卓越した技能を修得させるための専門科目を開講する。
3. 専門分野に偏ることなく洞察力や応用力を修得させるための専攻共通科目及び分野共通科目を開講する。

（生命医工学専攻）

生命医工学専攻は、研究科及び専攻の教育目標に則り、医学系と理工学系融合である生命医工学分野における高度専門職業人、研究者に必要とされる専門分野における深い知識・卓越した技能、洞察力、応用力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、以下のような教育課程編成の方針により、講義、演習、実験並びに実習等からなる専門性の高いカリキュラムを実施する。

1. 本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
2. 教育課程の編成に当たり専攻分野に関する深い専門的知識と卓越した技能を修得させるため、理工学系「3年制コース」と医学系「4年制コース」においてそれぞれの専門科目を開講する。
3. 生命医工学の特徴である境界領域の広範囲な知識の修得と洞察力、応用力を修得させるための専攻共通科目を開講する。

6. 総合医理工学研究科の構成

総合医理工学研究科は以下の専攻・分野・ユニット・コースで構成されています。

(1) 医学系専攻 Department of Medical Sciences

分野 Division	ユニット Unit	修業年限 取得できる学位
医学分野 Medical Science Division		4 年 博士(医学)
保健学分野 Health Science Division	母子保健学ユニット Child and Women's Health Science Unit	3 年 博士(保健学)
	成人保健学ユニット Adult Health Science Unit	
	老年保健学ユニット Geriatric Health Science Unit	
	医療生命科学ユニット Health and Medical Science Unit	

(2) 総合理工学専攻 Department of Science and Technology

分野 Division	ユニット Unit	修業年限 取得できる学位
ファイバー工学分野 Textile Technology Division	バイオフィ이버工学ユニット Biofiber Technology Unit	3 年 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)
	フロンティアファイバー工学ユニット Frontier Fiber Technology Unit	
	スマート材料工学ユニット Smart Materials Science and Technology Unit	
	感性・ファッション工学ユニット Kansei and Fashion Engineering Unit	
エネルギー・システム工学分野 Energy and Systems Engineering Division	エネルギー材料・デバイス工学ユニット Energy Materials and Devices Engineering Unit	3 年 博士(工学) 博士(学術)
	情報通信システム工学ユニット Information and Communication Systems Engineering Unit	
	機械システム工学ユニット Mechanical Systems Engineering Unit	
物質創成科学分野 Materials Science and Engineering Division	分子機能材料工学ユニット Functional Molecules and Materials Unit	3 年 博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)
	物質解析科学ユニット Matter and Spacetime Sciences Unit	
	極限材料工学ユニット High Performance Materials Unit	
	分子基盤科学ユニット Fundamental Molecular Science Unit	
山岳環境科学分野 Mountain and Environmental Science Division	生物・大気・水環境科学ユニット Mountain Environmental Sciences Unit	3 年 博士(理学) 博士(農学) 博士(学術)
	地殻環境科学ユニット Crustal Environment Science Unit	
	環境共生学ユニット Environmental Symbiosis Sciences Unit	

生物・生命科学分野 Biological and Agricultural Sciences Division	先端生命科学ユニット Integrated Bioscience Unit	3 年 博士(理学) 博士(農学) 博士(学術)
	食品生命科学ユニット Food Science and Biotechnology Unit	
	生物資源科学ユニット Bioresource Science Unit	
数理・社会システム科学分野 Mathematical and Social Systems Science Division	建築環境システム工学ユニット Architectural and Environmental Engineering Unit	3 年 博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)
	水環境・土木システム工学ユニット Water Environment and Civil Engineering Unit	
	数理情報システム科学ユニット Mathematical Sciences Unit	

(3) 生命医工学専攻 Department of Biomedical Engineering

分野 Division	コース Course	修業年限 取得できる学位
生命工学分野 Biotechnology Division	4 年制コース 4-year course	4 年 博士(医学)
	3 年制コース 3-year course	3 年 博士(医工学)
生体医工学分野 Biomedical Engineering Division	4 年制コース 4-year course	4 年 博士(医学)
	3 年制コース 3-year course	3 年 博士(医工学)

7. 事務窓口

専攻等	担当事務
研究科全体にかかわること 総合理工学専攻全体にかかわること 生命医工学専攻全体にかかわること 生命医工学専攻（3年制コース）にかかわること	学務部学務課大学院室 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 Tel：0263-37-2863 Fax：0263-36-3044
医学系専攻にかかわること 生命医工学専攻（4年制コース）にかかわること	医学部大学院係 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 Tel：0263-37-3376 Fax：0263-37-3080

8. 学修について

(1) 修了要件

博士課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格することです。ただし、在学期間に関しては、研究科が「優れた研究業績」を上げたと認める者については、博士課程に3年以上在学すれば足りるものとします。

(2) 早期修了

ここで「優れた研究業績」とは、以下の条件全てを満たしている必要があります。ただし、社会人入試での入学者は、早期修了を認めていません。

1. 一流欧文雑誌に掲載された、学位論文（掲載受理されたものを含む）1編が在学中に作成され、申請者が筆頭著者である場合に適用する。なお、一流欧文雑誌とは、原則としてSCⅠの分野別ランキングの上位25%以上に位置するものとする。ただし、分野別ランキング上位25%未満でもインパクトファクター3.0以上ならば考慮する。
2. 指導教授の推薦があること。

9. 在学期間

標準修業年限は4年。在学期間は8年（修業年限の2倍）を超えることができません。在学期間中にやむを得ない理由があり、引き続き3ヶ月以上修学できない場合、所定の手続きをすれば休学が認められます。休学できる期間は最長4年までです。休学期間は在学期間に参入しません。

(1) 進 級

進級判定はありません。修業年限を超えた者のみが留年扱いとなります。留年者には授業料の納付義務が発生します。

(2) 研究指導体制

研究指導は、主指導教授と2名以上の副指導教授の合計3名の教員により構成される複数指導体制により実施します。

主指導教授と相談し、指定された期日までに「指導教授届」を医学部大学院係へ提出してください。

また、「研究指導計画書・報告書」を入学から修了まで継続して作成し、指定された期日までに医学部大学院係へ提出してください。

10. 授業の履修について

(1) 授業日程

シラバスで確認してください。

信州大学シラバス検索システム

<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top>

(2) 授業時間帯

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50	18:00～ 19:30	19:40～ 21:10

授業は、行事等のため他の日と振替えて行う場合や、休講となる場合があります。

変更があった場合は、メールでお知らせします。

■ 授業の欠席

学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とします。

以下に規定する理由により授業に出席できない場合は、所定の様式により、授業担当教員に当該授業内容について学修の補充を受けるための申出を行う必要があります。

(学修の補充を受けることができる理由)

- ・ 2 親等以内の親族又は配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む）が死亡し、葬儀等に出席する場合
- ・ 病気やけがの場合
- ・ 裁判員の参加する刑事裁判に関する法律に基づく裁判員の選任手続及び裁判員の職務従事のため裁判所に出頭する場合
- ・ 災害又は公共交通機関の遅延・運休により、授業への出席が困難である場合
- ・ その他授業開講部局の長が認める場合

■ 大雨・大雪・暴風時の授業の取扱い

大雨・大雪・暴風時により、授業及び試験の実施が困難又は困難が予測される場合の授業の取扱いは以下の判断基準によります。キャンパス情報システムのお知らせの掲示やホームページ等で周知しますので、各自確認してください。

休講の判断基準

- 1 松本キャンパスの所在地域を対象とする警報が発表された場合又は警報の発表が予想される場合、松本キャンパス所在地域の公共交通機関の運休又は運休計画の状況を勘案して、休講措置を決定します。

- 2 休講措置を決定する時期と対象授業の範囲は次の表のとおりです。

時期	対象授業の範囲
前日午後 4 時時点	翌日に開講する全時限又は一部の時限の授業
午前 7 時時点	当日に開講する全時限又は一部の時限の授業
午前 10 時時点	当日午後(夜間含む)に開講する全時限又は一部の時限の授業

- 3 松本キャンパスの所在地域を対象とする特別警報が発表された場合、松本キャンパスにおいてその日に実施する授業を直ちに休講とします。

■学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する感染症（コロナウイルス感染症等）にかかった場合等の手続について

学生が新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症にかかった場合等においては、感染症拡大防止のため、「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」に基づき、「出席停止」となりますので、以下のとおり手続を行ってください。

※感染症に関する問合せ：総合健康安全センター

※授業に係る手続に関する問合せ：大学院係

信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項	実際の手続
第 1 趣旨 この要項は、信州大学の学生が学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症（以下「感染症」という。）にかかった場合等の授業の出席の取扱いに関し、必要な事項を定める。	学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する学校において予防すべき感染症の詳細は、総合健康安全センターのウェブサイト以案内を掲載していますので、参照してください。 URL : https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/health/common/docs/common/restrictions.pdf
第 2 出席停止 1 学長は、感染症にかかった学生、かかっている疑いがある学生又はかかるおそれのある学生があるときは、授業への出席を停止させることができる。ただし、オンラインで実施する授業への出席について学生が申し出た場合は、これを妨げない。 2 出席停止の期間は、学校保健安全法施行規則第 19 条の規定を基準として、総合健康安全センター長が決定し、出席停止の理由とともに学生に通知する。	- 感染症にかかった又はかかっている疑いがある場合は、ACSU にログインし、「【学生用】感染症等発生・消失報告」メニューから「発生報告」登録を行ってください。 - 登録が完了すると、感染症等報告システムから登録完了メール及び出席停止期間通知（始期）メールが送信されます。 - 登録内容について、総合健康安全センターから電話で聞き取りをする場合がありますので、必ず対応してください。

第3 感染症にかかった場合等の申告 学生は、感染症にかかった場合又はかかっている疑いがある場合は、速やかにその旨を大学に申告しなければならない。	・症状が消失したら、再度、「【学生用】感染症等発生・消失報告」メニューから「症状消失」登録を行ってください。出席停止期間（終期）通知メールが送信されます。 ・感染症等報告システムから出席停止の旨をメールで通知された学生は、対面で行われる授業への出席が停止されます。 ・体調に支障がなく、オンラインで実施されている授業へ自宅からアクセス可能な場合は、出席しても構いません。 ・<u>出席停止期間中、入院していない場合は、自宅待機してください。感染拡大防止のためサークル活動やアルバイト等も行わないでください。</u>
第4 出席停止期間中の授業の扱い 1 出席停止期間中の授業については、欠席扱いとしない。 2 出席停止期間が長期間にわたる場合の取扱いについては、その都度当該学生の所属部局及び学生が受講する授業の開講部局間で協議する。	※出席確認システムには出席停止期間は反映されません。
第5 授業担当教員への情報共有 学生が出席停止となった場合は、当該学生が履修登録している授業の担当教員に情報共有する。	・学生が出席停止になると、教員が利用するキャンパス情報システムの受講者名簿に出席停止期間が表示されます。
第6 授業担当教員への報告 出席停止とされた学生は、第2第2項の通知を示して授業担当教員に出席停止を受けたことを報告する。	・感染症等報告システムから送信された出席停止期間が記載されているメールを授業担当教員に転送または印刷して提示することで、出席停止を受けたことを報告し、出席停止期間中の授業の学修の補充について、教員から指示を受けてください。 ・教員への報告は、状況に応じて、出席停止通知後または症状消失後速やかに行ってください。
第7 出席停止とされた学生への配慮義務 第6の報告を受けた授業担当教員は、当該学生に対し、レポートやe-Learningの活用等、当該授業の特性に合わせた方策により出席停止期間中の学修を補充する支援を行い、当該学生が履修上不利益とならないように配慮しなければならない。	・学生から報告を受けた教員は、キャンパス情報システムの受講者名簿に記載されている出席停止期間が学生の申し出と一致するかを確認した上で、学生に対し、出席停止期間中の授業について、レポートやe-Learningの活用等の方策により学修を補充する支援を行います。
第8 試験の取扱い 出席停止期間中の試験の取扱いについては、当該授業科目を開講する部局の判断において、追試験の実施やレポート等で対応し、当該学生が履修上不利益とならないように配慮する。	・当該授業の開講部局で追試験制度が定められている場合には、その手続きに従ってください。追試験制度が定められていない場合には、授業担当教員の指示に従ってください。

附 則 (略) 附 則(令和4年11月16日令和4年度要項 第5号) この要項は、令和5年4月1日から実施す る。	
--	--

令和5年5月8日から、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)は感染症法上の扱いが5類となりました。学校保健安全法施行規則では引き続き出席停止とできる疾病に指定されていますが、本学における就学上の取り扱い及び連絡方法は令和5年5月8日以降、以下のとおりとします。

① 感染者(自己検査や医療機関で診断された方)

上記の要項に基づく出席停止としますので、速やかに学内ポータルサイト ACSU の「シラバス・キャンパス情報・感染症報告(学生)」メニューの「感染症等発生・消失報告」から報告してください。

② 有症状者(①の場合を除く)

上記の要項に基づく出席停止の対象とはしません。授業に出席できない場合は、信州大学における授業の出席に関する要項第3第4項「学生が第4に規定する事由以外の事由で授業に出席できない場合の学修の補充は、授業担当教員の判断によるものとする。」に基づき、取り扱いますので、授業担当教員に申し出てください。

ただし、所属学部等から別途指示がある場合は、それに従ってください。

③ 濃厚接触者

上記の要項に基づく出席停止の対象とはしません。ただし、所属学部等から別途指示がある場合は、それに従ってください。登校時は、常時不織布マスクを着用し、食事は1人で摂るようにしてください。

(3) 履修について

修了要件は、所属する専攻、分野により異なりますので注意してください。

また、4年次の学位論文審査申請時には、修了に必要な単位（32単位）が修得済みであることが条件となりますので、3年次までに全て修得するようにしてください。

【医学系専攻医学分野の修了要件】

科目区分	授業科目名		単位数	履修年次
研究科共通科目	最先端研究特講	必修	2	1～3
専攻共通科目	生命倫理・研究倫理特論	必修	2	1
	医学統計・疫学特論(2) 生涯保健学研究法特論(2)	選択必修	2	1
分野共通科目	医科学研究遂行特論	必修	2	1
	形態学研究方法特論(2) 免疫学研究方法特論(2) 生化学・分子生物学研究方法特論(2) 人類遺伝学研究方法特論(2) 薬理・生理学研究方法特論(2) 神経科学研究方法特論(2) 腫瘍学研究方法特論(2)	選択必修	6	1
分野専門科目	論文演習 特別研究	必修 必修	2 10	2 3
	専門科目*	選択必修	6	1
	合計必要単位数		32 以上	

* 主指導教授及び副指導教授（医学分野）が担当する分野の授業科目を合わせて6単位以上

なお、単位の取得のほかに、博士論文の審査及び最終試験に合格することが課程修了の必須要件です。

【生命医工学専攻4年制コースの修了要件】

科目区分		科目／科目区分	単位数	履修年次
研究科共通科目		最先端研究特講	必修 2	1～3
専攻共通科目		社会医工学特論 イノベーションセミナー	必修 2 2	1・2
分野共通科目		特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ	必修 2 2	1 2
分野 専門 科目	必修	特別演習Ⅲ 生命倫理・研究倫理特論 医科学研究遂行特論	必修 4 2 2	3 1 1
	I	医学統計・疫学特論(2) 生涯保健学研究法特論(2)	選択 必修 2	1
	II	形態学研究方法特論(2) 免疫学研究方法特論(2) 生化学・分子生物学研究方法特論(2) 人類遺伝学研究方法特論(2) 薬理・生理学研究方法特論(2) 神経科学研究方法特論(2) 腫瘍学研究方法特論(2)	選択 必修 6	1
	III	所属する分野で開設する専門科目	選択 必修 6	1
	合計必要単位数		32 以上	

なお、単位の取得のほかに、博士論文の審査及び最終試験に合格することが課程修了の必須要件です。

(4) 履修登録手順

年度の始めに1年間履修しようとする授業科目を選択し、指定された期日までに「履修届」を医学部大学院係へ提出してください。

「履修届」は、必ず主指導教授に相談のうえ提出してください。

11. 成績の認定

各授業科目の成績は、秀、優、良、可及び不可をもって表わし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とします。

成績に異議が生じた場合は、成績を開示した日から1週間以内（土曜日、日曜日及び祝日を含む。）に成績評価照会願を医学部大学院係に提出してください。

	評語	評点	GP	評価の基準
合格	秀（S）	90-100	4	授業の達成目標から見て卓越している
	優（A）	80-89	3.33	授業の達成目標から見て合格水準のかなり上にある
	良（B）	70-79	2.67	授業の達成目標から見て合格水準のやや上にある
	可（C）	60-69	2	授業の達成目標から見て合格水準にある
不合格	不可（D）	50-59	1	授業の達成目標から見て合格水準に少し足りない
	不可（F）	0-49	0	授業の達成目標から見て合格水準に届いていない

※GPA 制度は学士課程のみ対象。（修士課程・博士課程は適用外）

12. 他の大学院等における研究指導について

教育上有益と認められた場合には、他の大学院や研究所等又は外国の大学院や研究所等で、特定の課題について研究指導を受けることができます。〔別途手続きが必要〕。手続きについては医学部大学院係に相談してください。

13. 学位論文の審査について

学位論文審査申請方法、様式等については Web サイトに掲載している手引きを確認してください。

審査委員長（主査）と3名以上の審査委員（副査）の合計4名以上による学位審査委員会を研究科内に設置します。学位審査委員会においては、本学以外の大学等教育研究機関の外部審査委員を審査委員（副査）として少なくとも1名加えることにより、厳格な学位審査を行います。

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、本専攻の人材養成目的に適う、研究科及び所属する専攻・分野毎の学位授与方針に定めた知識・能力・技能等を身に付けたうえで、学位審査委員会による学位論文の審査及び最終試験に合格することが課程修了の必須条件となっています。この条件を満たした学生に対して、最終的に研究科委員会が学位授与を決定します。

14. 授与される学位について

(1) 学位の種類

課程博士（甲）

本学総合医理工学研究科の博士課程に入学して、複数の指導教員の指導の下で研究を行い、在籍期間中に博士論文を提出した者及び修了に必要な単位を修得して退学（単位修得退学）した後1年以内に学位論文を提出し、審査が終了した者に授与される学位です。

論文博士（乙）

本学に学位論文を提出し、博士論文審査に合格し、かつ、大学院の博士課程を修了したものと同等以上の学力があると認定された者に授与される学位です。

(2) 学位に付与する名称

博士に付記する専攻分野の名称は、以下のとおりです。

医学系専攻医学分野	博士（医学）
生命医工学専攻4年制コース	博士（医学）

(3) 学位論文の公表

公表された論文は、信州大学機関リポジトリに掲載されています。

学術情報オンラインシステム SOAR（機関リポジトリ）

<https://soar-ir.repo.nii.ac.jp/?lang=japanese>

15. 学修関連のシステム・情報

(1) ポータルサイト ACSU（握手）

ACSU（握手）は、信州大学の学生・教職員が利用するポータルサイトで、各種学内システムに SSO(シングルサインオン)することができます。また、大学の情報システムやネットワークに関するお知らせが掲載されるサイトです。

ACSU からネットワークに接続し、メール・キャンパス情報システム・e-ALPS などを確認ください。

ポータルサイト ACSU（握手）

<http://acsu.shinshu-u.ac.jp/ActiveCampus/>

Gmail（大学のメールシステム）

信州大学メール（@shinshu-u.ac.jp）はポータルサイト ACSU からログインして利用することができます。メールアドレス、ログインアカウント・初期パスワードは入学時に配付した「信州大学 学生氏名等確認/アカウント通知書」に記載されています。

変更後のパスワードを忘れた場合は、本人確認のため学生証を持参の上で、医学部大学院係で「ログインパスワードの初期化」を依頼してください。

キャンパス情報システム

キャンパス情報システムでは、履修登録、授業に関する情報や成績の閲覧、大学からの連絡、信州大学に求人のあったアルバイト情報の確認ができます。このシステムにより、時間と場所に限定されず、様々な情報の入手が可能です。

※携帯電話からも利用できます。（一部ページ除く）

eALPS（e-Learning システム）

eALPS では、授業に関する情報の閲覧、授業で課されたレポートの提出ができます。特に、研究科共通科目や専攻共通科目の一部の授業科目の中には、この eALPS により、授業の開講日、教室、担当教員に関する情報、レポート提出に関する情報などが掲載されますので、確認するようにしてください。

ポータルサイト ACSU（握手）にログイン後、メニュー「eALPS」からアクセスしてください。

(2) シラバス

授業科目の概要・授業計画・履修上の注意・教員への質問の方法等が記載されています。履修する授業のシラバスをよく読んでください。

信州大学シラバス検索システム

<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top>

16. 学生生活にあたって

次のような場合には、書類の提出が必要です。期日までに提出がないと手続きが間に合わず、不利益がある場合がありますので早めに相談するようにしてください。

- 休学をするとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・「休学願」
- 許可された休学期間の満了により復学するとき・・「復学願」
- 休学を延長するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・「休学期間延長願」
- 外国の大学院に留学するとき・・・・・・・・・・「留学願」
- 転専攻したいとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・「転専攻願」
- 退学するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・「退学願」
- 改姓（改名）するとき・・・・・・・・・・・・・・「改姓（名）届」
- 授業料振替口座の変更・・・・・・・・・・・・・・「預金口座振替依頼書」
- 海外へ渡航するとき・・・・・・・・・・・・・・「海外渡航届」
- 指導教員を変更するとき・・・・・・・・・・・・・・「指導教員変更願」

17. 身分異動

休学、復学、休学延長及び退学のように学籍に関わる身分の異動を希望する者は、原則2ヶ月前までに医学部大学院係へ書類を提出してください。身分異動については、本人の申請書類に基づき各委員会で承認を得る必要があります。書類の提出が遅れ、手続きができなかった場合、翌期分の授業料納入の義務が発生する、修了に必要な在学期間が不足する等、ご自身の不利益が生じることがありますのでご注意ください。

申請については、指導教員及び保証人（家族等）と十分に相談し、承諾を得てください。

(1) 休 学

（大学院学則 48 条）

在学中に病気その他の理由で引き続き3か月以上修学することができない場合は、所定の「休学願」に必要な事項を記入し、指導教員の署名のうえ、提出してください（病気を理由とする場合は医師の診断書が必要です）。研究科長の承認を得た上で、休学が許可されます。

休学事由	必要事項
病気のため	願に加療期間が明記された医師の診断書を添付
経済的理由のため	願の申し立て欄に詳細な事由を記載
留学のため〔大学との交流協定によるものは除く〕	留学先の入学許可書等を添付
公共的な事業に参加するため〔国又は地方公共団体等の求めによる場合〕	願の申し立て欄に詳細な事由を記載
上記の事項と同等以上の事情のため （例：業務多忙のため（社会人学生）etc）	願の申し立て欄に詳細な事由を記載

注意事項

1. 1回の申請により休学できる期間は、1年以内です。更なる休学の必要がある場合は、休学期間延長の申請をしてください。

2. 休学は通算して48ヶ月（4年）を超えることはできません。
3. 休学期間は在学年数に算入しません。
4. 休学しようとするときは、授業料の納入、休学・復学の時期に関連する授業科目の履修や在学期間の観点から問題が生じないように、事前に医学部大学院係に相談してください。
5. 日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている方は、「休学願」と併せ、「異動願（届）」の提出が必要です。

(2) 復 学

（大学院学則 50 条）

休学を許可された学生は、休学期間が満了となる際に、所定の「復学願」に必要事項を記入し、提出してください。

休学中に、その事由が消滅した場合は休学許可された期間を繰り上げて、復学することができます。所定の「復学願」に必要事項を記入し、指導教員の署名のうえ、提出してください。研究科長の承認を得た上で復学することができます。日本学生支援機構奨学金が休止中の者は、「異動願(届)」の提出が必要です。

なお、復学が許可された月から授業料納入の義務が発生します。

(3) 退 学

（大学院学則 53 条）

退学する場合は、所定の「退学願」に必要事項を記入し、指導教員の署名のうえ、提出してください。研究科長の承認を得た上で、退学が許可されます。

注意事項

1. 単位修得退学の場合も「退学願」の提出が必要です。
2. 退学しようとするときは、事前に指導教員に相談してください。
3. 退学希望期日に属する学期の授業料を完納しなければ、退学は許可されません。
4. 日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている者は、「異動願(届)」及び「リレー口座預金口座振替依頼書（写）」の提出が必要です。

(4) 除 籍

（大学院学則 54 条）

以下の事由に該当する者は除籍となります。

1. 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しなかったとき
2. 疾病その他の理由により成業の見込がないと認められたとき
3. 在学期間を超えて、なお所定の課程を修了できないとき
4. 休学期間が4年を超え、なお就学できないとき
5. 入学料の免除又は徴収猶予を申請した者のうち、免除若しくは徴収猶予が許可されなかった者又はその一部の免除を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき
6. 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき

(5) 転専攻

(大学院学則 26 条第 2 項)

他の専攻に移籍を希望する学生は、事前に指導教員等と十分に相談のうえ、所定の「転専攻願」に必要事項を記入し、指導教員の署名のうえ、医学部大学院係に提出してください。

(6) 留 学

(大学院学則 52 条)

休学をせずに、外国の大学院等に留学し、教育を受ける場合は、所定の「留学願」に指導教員の署名のうえ、医学部大学院係に提出してください。研究科長の承認を受け、在学したまま当該大学院等に留学することができます。

(7) その他

・住所変更等の届け出

本人又は保証人の住所・電話番号等に変更があった場合は、各自、キャンパス情報システムから変更登録をしてください。変更登録を怠ると、大学からの緊急時の連絡がとれず修学に支障をきたすなど不利益になる場合があります。

・海外渡航届け出

海外へ渡航する場合は、渡航前に ACSU ポータルサイトから海外渡航届を提出してください。緊急時の連絡に必要となります。

・指導教員を変更する場合

指導教員を変更する場合は、変更前・変更後の両方の教員から承諾を得て、所定様式を提出ください。

・本学における学籍上の氏名、性別などの取扱について

学籍上の氏名や性別は、戸籍・旅券（パスポート）・特別永住者証明書・在留カードに記載されたものになります。婚姻による改姓、旧姓や通称名の使用など、その扱いに変更が必要な場合は手続きが必要になりますので、大学院係に申し出てください。

上記以外で、身分等に変更があった場合には、医学部大学院係に相談してください。

18. 学生証

学生のみなさんには、入学と同時に学生証が配付されます。この学生証は、本学の学生としての身分を証明するものですので、汚損や紛失などがないよう注意し、常に携帯してください。

・学生証の有効期間は、4 年間です。

留年等で有効期限を延長したい場合は、医学部大学院係に願い出てください。

・修了、退学、除籍等により学生の身分を失ったときは直ちに学生証を返還してください。

・紛失や盗難にあったとき、汚損等により使用不能となったときは、速やかに学生総合支援センターで再発行の手続きを行ってください。

19. 証明書等の発行

◎在学生の場合

「在学証明書」，「成績証明書」，「修了見込証明書」，「健康診断証明書」，「学生旅客運賃割引証（学割証）」

学生総合支援センターにある証明書発行機により交付されます。学生証を持参し発行機画面の案内に従って手続きをすれば、すぐに発行されます。

◇ 証明書発行機の稼働日・時間

平日 8:30～17:15（土日祝日は利用できません。）

その他の証明書

医学部大学院係へ申し出てください。即日発行はできませんので、2週間程度の余裕をもって申請してください。

◇ 窓口対応時間

平日 8:30～17:15（土日祝日は対応できません。）

※社会人学生等で平日の来学が難しい場合は、下記の修了・退学者の場合を参考にしてください。

◎修了生・退学者の場合（在学生の場合も対応可能）

「修了証明書」，「成績証明書」，「退学証明書」，その他の証明書

医学部大学院係にて発行手続きを行います。所定用紙に記入の上、郵送で発行申請をしてください。即日発行はできませんので、2週間程度の余裕をもって申請してください。

申請手続方法【医学部HP（卒業生の方へ）】

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/alumni/certificate.php>

本人確認について

証明書交付の際、個人情報保護の観点から、本人確認を行っておりますので、ご協力をお願いします。

○窓口での請求

本人確認ができる書類（学生証・運転免許証等）の提示をしてください。

○郵送による請求

証明書交付願に本人確認ができる書類の写しを添付のうえ、申請ください。

○本人による申請が難しいときは、代理申請することができますが、代理申請には委任状及び代理人の身分証の写しが必要です。

証明書の発行手数料

無料（令和5年4月1日現在）

※ただし郵送の場合は本人が郵送料を負担

20. 学生旅客運賃割引証の発行

学割証

学割証はJRの乗車区間が片道で100kmを超えるとときに利用できます。学割証の発行枚数は1日2枚、有効期間は発行の日から3カ月間です。年間1人当たり15枚まで発行機を利用して発行できますが、詳細は学生総合支援センターへお尋ねください。

通学定期券の購入について

自宅と所属するキャンパスの最寄り駅までの通学定期券は、学生証の提示により購入することができますが、一部のバス会社等では購入できない場合があります。この場合は通学証明書を発行しますので申し出てください。

21. 学研災・学研賠

本学では、万一の事故に備え、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」、「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」及び生協の保険等同等内容の保険への加入を義務づけています。

入学する際、標準修業年限（4年）の期間について加入してください。加入期間満了日以降も本学学生として在学する場合は、再加入する必要があります。

休学等の身分異動が生じた際は、所定の手続きが必要となります（保険の適用範囲などが変動する場合があります。学研災については、学生総合支援センターに問い合わせください）。また、万一、事故や傷害が発生した場合は、直ちに報告するとともに、所定の様式を請求し、届けを提出することが必要です。

(1) 学生教育研究災害傷害保険

学生が教育研究活動中、通学途中・課外活動中に不慮の事故により負傷・後遺障害あるいは死亡といった災害を被った場合、治療費等の経済的負担を軽減するもの。

(2) 学研災付帯賠償責任保険

学生が正課、学校行事、およびその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するもの。

(3) 東京海上日動火災保険（株）が窓口となっている保険

日常生活でのケガや病気の補償など⇒学研災付帯学生生活総合保険（略称：付帯学総）学研災及び学研賠では補えない日常生活でのケガや病気等の治療実費の支払い、またクラブ活動中の賠償など学生生活をより広くカバーした補償内容です。付帯学総単独での加入はできませんので、学研災と併せて加入ください。

(4) 大学生協が窓口となっている保険

信州大学生生活協同組合（生協）でも、広範囲を補償する学生総合共済（生命・火災）・学生賠償扶養者死亡保障等の学生保険を取り扱っています。

22.授業料の納付について

授業料の額

年額 535,800円（令和3年度の額）

※授業料が改訂された際は、改訂後の額が適用されます。

授業料の納付方法

1. 授業料の年額のうち半期分を前・後期毎に納付いただきます。
2. 授業料は、原則として登録された預金口座からの引き落としとなります。
3. 預金口座からの引き落としを行うため、「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」による届出が必要です。また、預金口座を変更する場合も同様の届出が必要です。
4. 「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」が必要な方は、医学部会計係に請求してください。
5. 預金口座からの引き落としによらず、本学が指定する金融機関の口座へ振込により授業料を納付することもできます。希望する場合は、医学部会計係まで申し出てください。ただし、振込手数料は自己負担となります。
6. 前期分授業料納付の際、後期分授業料も併せ、一括して納付することもできますので、希望する場合は医学部会計係に申し出てください。
7. いったん納付された授業料は原則として返還できません。

納付時期

1. 授業料の預金口座からの引き落とし日は、前期分は5月26日、後期分は11月26日（当該日が金融機関の休日の場合は翌営業日）です。授業料の引き落としを行う預金口座に授業料相当額を引き落とし日の前日までに用意してください。預金残高不足等の理由により、預金口座からの引き落としができなかった場合は、翌月の26日（当該日が金融機関の休日の場合は翌営業日）に再度引き落としを行います。
2. 納付期限までに授業料を納付しない者は、学則の定めにより除籍されます。
3. 授業料未納の場合は、修了・休学・退学等の身分異動は認められません。

23.授業料免除・徴収猶予

授業料免除の対象者

1. 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
2. 授業料の各期の納期前6か月以内において、学生の学資を主として負担している学資負担者が死亡し又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
3. その他上記2に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

授業料徴収猶予の対象者

1. 経済的理由により納付すべき時期までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合
2. 学生又は学資負担者が災害を受け、授業料の納付が困難であると認められる場合
3. その他やむを得ない事情があると認められる場合

手続き

授業料免除を希望する学生は、以下の学生総合支援センターのホームページから「申請のしおり」および申請書様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて期限までに学生総合支援センターへ申請してください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/

24.奨学金・その他の経済的支援

学業・人物ともに優秀で、学資の支弁が困難と認められる学生に対し奨学金等が給付・貸与されます。募集等の連絡は、キャンパス情報システムで行ないます。

(1) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

奨学金を希望する学生は大学を通じて募集期間内に手続きしてください。家計に急激な変化が生じた学生は、随時対応となります。学生総合支援センター相談してください。

独立行政法人日本学生支援機構

<http://www.jasso.go.jp/>

(2) 日本学生支援機構以外の奨学金

地方公共団体の奨学金を希望する場合は、各自でそれらの団体へ問い合わせてください。民間財団奨学金は大きく2種類に分けられ、大学推薦が必要な奨学金（大学推薦型）と大学推薦の必要のない、直接応募できる奨学金（直接応募型）があります。

信州大学学生総合支援センター（奨学金）

http://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/scholarship/guidance.html

(3) 留学生に対する奨学金等の制度について

文部科学省外国人留学生学習奨励費

日本学生支援機構では、我が国の大学等に在籍する私費外国人留学生等で、学業、人物ともに優秀かつ経済的理由により修業が困難である者に対する支援を実施しています。

日本学生支援機構

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/index.html

25.一般的な学生生活上の相談について

(1) メンタルヘルス相談について

学生生活を送るにあたって、対人関係、自分の性格等についての悩みほか、「心の健康」に関する悩み事について、本学ではメンタルヘルス相談を設けています。メンタルヘルス相談は、月1回程度、カウンセラーによる相談も設けています。

カウンセラーによるメンタルヘルス相談の実施日は、下記連絡先へ問い合わせてください。

《連絡先》

松本キャンパス（総合健康安全センター）：0263-37-2157

(2) 教育問題相談窓口について

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメント等の悩み事については、医学部大学院係、学生相談センター及びイコール・パートナーシップ委員会に相談してください。

○学生相談センター

学生生活の中で、いろいろなことに悩んだり、不安になったり、困ったり、心が疲れたときに、気軽に相談してください。専門の相談スタッフが、相談内容に応じて、一緒に考えたり関係窓口を紹介したりするなど、解決に向けた支援をします。

《連絡先》

電話：0263-37-3165

e-mail：nandemo@shinshu-u.ac.jp

http://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/soudan/

〇イコール・パートナーシップ委員会

本学の教職員各4名（男女同数）で構成され、ハラスメントのない信州大学にするために学長の下に設置された委員会です。しかし、真偽を調査する委員会ではありません。学生一人一人の人権を擁護するとともに、修学にふさわしい環境が確保されることを目的とする委員会です。差別・人権などについて疑問や問題があれば、委員会か委員何れかに気軽に相談してください。（詳細は29ページを参照してください。）

《連絡先》

e-mail：epiinkai@shinshu-u.ac.jp

26. 図書館

本学の附属図書館は、5キャンパス6館で構成されています。

各館はそれぞれのキャンパスにおける学術情報の流通拠点としての機能を果たすとともに、信州大学ユビキタスネットワークシステム（SUNS）を通して相互に連帯をはかり、分散している資源の有効活用に努めています。

開館時間や利用条件、利用方法は図書館ごとに異なります。ご利用の際には、各図書館の利用案内を確認してください。

附属図書館 URL：<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/>

27. 健康管理

（1）健康診断

本学では、年1回（4月）、定期健康診断を実施しています。ただし、医師及び社会人の方は職場の健康診断を受けてください。日程等の詳細は医学部大学院係に問い合わせてください。

（2）禁煙

本学は、学生及び教職員の健康を確保し、タバコのない大学キャンパスを作るために、平成28年4月1日より全てのキャンパスの敷地内を全面禁煙としています。

喫煙する場合は、門の周囲など、大学外敷地との境界での喫煙は、多くの方に対する受動喫煙の原因となりますので、控えてください。

（3）AED（自動体外式除細動器）

本学は、各キャンパスの主要施設にAEDを設置しています。いざという時のために設置場所を確認してください。

《松本キャンパス》



28.安全管理

(1) 建物への入棟について

夜間、土・日・祝日に建物及び図書館に入棟する場合は、学生証が必要となります。また、建物によっては、事前に手続きが必要となる場合がありますので、医学部大学院係に問い合わせてください。

(2) 駐車場利用について

本学では、原則自動車での通学は禁止しています。（身体障害等の特別な事情の場合を除く）また、事故防止及び騒音防止を目的に構内におけるバイクの走行を禁止しています。バイクを通学に利用する場合は、決められたバイク専用駐車場に駐車してください。

自転車も、構内の指定された駐輪場へ駐輪してください。公道への違法駐車及び大学周辺への迷惑駐車は厳禁です。

(3) 事件・災害時

災害発生時の避難・行動マニュアル【学生編】○ 学生総合支援センターHP 掲載

地震等の自然災害は、突然発生し、建築物の倒壊、家具等の落下・転倒など物的被害とそれに基づく人的被害などの直接被害だけでなく、火災等による間接的な被害も起こるため、これらの災害の発生を最小限に留めるためには、日常からの備えが必要です。

本学の学生総合支援センターのホームページに、「災害時の対応」、「避難・行動マニュアル【学生編】」を掲載していますので、確認してください。

《災害時の対応》

http://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/attention-info/34314.html

《避難・行動マニュアル【学生編】》

http://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/attention-info/50556.html

ハラスメント（嫌がらせ）にあったら 【ハラスメント相談員】に相談してください ～信州大学イコール・パートナーシップ委員会から学生の皆さんへ～



ハラスメントって何？

◎ハラスメントとは、信州大学では、「ハラスメント等の防止等に関する規程」で、ハラスメントを次の4つに分類しています。（規程全文は、信州大学HP「信州大学について」→「大学概要・理念」→「国立大学法人信州大学規則集」→「規則一覧」→「第1編 全学 第6章 人事」に掲載。）

I：セクシュアル・ハラスメント…

- ・ 意図するかどうかにかかわらず、性差別的又は性的な言動によって相手を不快にさせる行為や、利益若しくは不利益を与えることを利用して相手に性的な誘い又は要求をする行為のほか、卑猥なポスターなどで修学環境を損ねるような行為も含まれます。また、これらの行為は異性に対するものだけでなく、同性に対するものも該当します。
- ・ セクシュアル・ハラスメントかどうかは、基本的には受け手が不快に感じるかどうかです。**当事者間の認識や意識のズレが原因となることが少なくありません。従って、相手を思いやる配慮が根絶の第一歩です。**

II：アカデミック・ハラスメント…

- ・ 教員等が教育・研究において、地位・職務権限を利用して学生等に著しい不利益を与えたり、不適切な言動で環境を害したりする行為を言います。
- ・ 典型的な事例は、人格まで否定するような言葉の暴力、正当な理由なくまったく指導してもらえない、研究・論文執筆等の妨害、非常識なノルマや雑用・私用の命令、極度のえこひいき、などです。

III：パワー・ハラスメント…

- ・ 優越的な関係を背景とした言動であり、就業上や修学上の環境を害する行為です。

IV：その他のハラスメント…

- ・ その他のハラスメントとは、セクハラ、アカハラ、パワハラに準じる行為や学外者によるハラスメントです。

ハラスメントを受けて辛いと感じたら、ハラスメント相談員に相談してください。

◎ハラスメント相談員は、本学の教職員で構成され、教育・学生支援機構、各学部等の男女それぞれ複数名からなります。ハラスメント相談員は、あなたの立場になって相談にのります。

- ・ **秘密は厳守**されます。相談したからといって、不利益な取扱いをされることはありません。
- ・ ハラスメントを受けていることを聴いてもらいたいだけの時も連絡していただいて構いません。
- ・ 相談は友人と一緒に構いません。
- ・ 他学部の相談員に相談しても構いません。
- ・ 相談内容によっては総合健康安全センターのカウンセリングを受けることができます。

◎ハラスメント相談員は、ハラスメント行為を受けているあなたの**サポーターのような立場の人**です。あなたとの相談の結果、事態解消のための行為者への「**申入れ**」や「**ハラスメント等相談調査対策委員会**」の設置（**裏面※①、②**）をあなたが望んだ場合、**イコール・パートナーシップ委員会（下記参照）への申請手続について助言してくれます**。イコール・パートナーシップ委員会は、必要に応じて関係の部局長等と協力して「申入れ」や「ハラスメント等相談調査対策委員会」の設置を実施します。

ハラスメント相談員への連絡先は？

氏名一覧と連絡先は、ポータルサイトACSU内に掲示されている名簿でご覧になるか、各学務窓口あるいは「学生相談センター（0263-37-3165）」にお問い合わせください。

「イコール・パートナーシップ（EP）委員会」とは？

本学の教職員各4名（男女同数）で構成され、ハラスメントのない信州大学にするために学長の下に設置された委員会です。しかし、真偽を調査する委員会ではありません。学生一人一人の人権を擁護するとともに、修学にふさわしい環境が確保されることを目的とする委員会です。差別・人権などについても疑問や問題があれば、委員会（epiinkai@shinshu-u.ac.jp）か委員いずれかに気軽に相談してください。

※① 行為者への「申入れ」とは？

イコール・パートナーシップ委員会が、行為者に対してハラスメントの原因となった行為をやめるよう通告することをいいます。相手に相談者が傷ついたことを理解して、今後同じことをしないようにしてもらえば

よい、と考えるときに適しています。その際、行為者に対して匿名を希望すれば、そのように配慮をします。

※② 「ハラスメント等相談調査対策委員会」の設置とは？

行為者に「申入れ」をしても事態が解消しない場合等は、あなたの要望等を考慮の上、イコール・パートナーシップ委員会の判断により「ハラスメント等相談調査対策委員会」が設置されます。行為者とあなたの双方からの言い分を聞いた上で問題の所在を把握し、それに応じてその後の措置が決まっていきます。

学外にも相談窓口があります。

①主に女性のための相談窓口

施設等名	各相談	電話番号	曜日・時間等
長野県男女共同参画センターあいとびあ	一般相談、法律相談(要予約)	0266-22-8822	【一般】 火～土 9:00～12:00, 13:00～16:30 【法律】 予約方法、実施日等は直接確認願います。
	女性のためのカウンセリング(要予約)		第2土・第4金 10:00～15:50 (一人50分) 詳細については電話で直接確認願います。
松本市ジェンダー平等センター パレア松本	一般相談	(電話相談) 0263-37-1588	(電話) 火、木、第1・3金 9:00～12:00 (最終受付11:30) 第2・4金 13:00～16:00 (最終受付15:30)
		(面接相談) 0263-39-1105	(面接) 月、火、木、第1・3金 13:00～17:00 (要予約) 第2・4金 16:00～19:00 (要予約)
	女性弁護士による法律相談	0263-39-1105	第2・4火曜日 13:30～15:30 (要予約)
長野県警・性犯罪被害ダイヤルサポート110	相談電話	0120-037-555	24時間対応
長野市勤労者女性会館しなのき	一般相談	026-237-8778	(電話) 平日、第2土 9:00～16:00 (面接) 平日 9:00～16:00 (要予約)
	女性弁護士による法律相談(要予約)	026-237-8303	第2水 10:00～12:00 (要予約) (1日4名まで、一人30分)
上田市市民プラザ・ゆう	専任相談員による相談(要予約)	0268-27-2988	火 11:00～18:00, 木 10:00～17:00, 第2・第4土 10:00～17:00 (土曜の相談は2日前までに要予約)
	女性弁護士による法律相談(要予約)	0268-27-3123	偶数月第4木、奇数月第2・4木 10:00～12:00 (一人30分、無料)
伊那市保健福祉部	女性のための相談	0265-78-4111	(電話) 平日 8:30～17:00 (面接) 平日 8:30～17:00 (要予約)
女性の人権ホットライン	女性をめぐる人権相談	0570-070-810	平日 8:30～17:15 ※IP電話からの場合 026-232-8145 (長野地方事務局)

②主に男性のための相談窓口

施設等名	各相談	電話番号	曜日・時間等
長野県男女共同参画センターあいとびあ	男性のための相談(電話相談)	0266-22-7111	金 17:00～19:00
松本市ジェンダー平等センター パレア松本	男性の悩み相談	0263-37-1587	第2・第3・第4火 17:00～20:00

③男女を問わない相談窓口

施設等名	電話番号	曜日・時間
心の電話相談(長野県精神保健福祉センター)	026-217-1680	平日 9:30～16:00
みんなの人権110番	0570-003-110	平日 8:30～17:15
長野地方事務局人権推進課	026-235-6634	平日 8:30～17:15
法務局上田支局人権相談所	0268-23-2001	
法務局松本支局人権相談所	0263-32-2571	
法務局伊那支局人権相談所	0265-78-3462	

④性暴力に関する相談窓口

施設等名	電話番号	曜日・時間等
性暴力被害者支援センター「りんどろハートなかの」	#8891 ※通話料無料 ※NTTひかり電話からは0120-8891-77へ。	(24時間ホットライン)
	026-235-7123 ※通話料有料 ※一部のIP電話等からはこちらへ。	

詳細は、県や市町村のホームページなどをご覧ください。

信州大学キャンパス・コード(基本指針)とは・・・

信州大学では、基本的指針として6本の柱から成る**キャンパス・コード**を定めています。

※全文は、信州大学HP「信州大学について」→「信州大学の方針・取組」→「大学の取り組み」→「ハラスメント防止への取り組み」→「職員・学生の責務と権利」をご覧ください。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ○ 個人を人間として等しく尊重します。 | ○ 学問・言論の自由を尊重します。 |
| ○ 性差別の根絶をめざし、男女共同参画を推進します。 | ○ 人権侵害等を防止します。 |
| ○ 権利・権限を適正に行使します。 | ○ プライバシー等を保護します。 |

※ 前頁右端はEP委員会のロゴで、「ep」の文字を男女のハートにデザインし、2つ合わせた四葉のクローバーです。

29.開設科目

(1) 研究科共通科目について

最先端研究特講《必修科目》

先鋭領域融合研究群の6つの研究所（第2期：先鋭材料，バイオメディカル，社会基盤，繊維科学，山岳科学，航空宇宙システム）に所属する教員を中心に，本学の教員が，それぞれの専門分野の最先端研究を異分野の学生にもわかりやすく講義する。

各キャンパスにおいて，各教員が講義を行う。各回の授業内容，日程，担当教員等の詳細は，eALPSにより周知する。

知財管理特講《自由選択科目》

知的財産権とは、知的創造活動によって生み出されたものを財産として保護するという、法律に基づいた権利である。基礎内容を時事的・具体的事例と共に学ぶことで、社会における重要性を十分に理解する。

(2) 医学系専攻医学分野開設科目一覧

*一番左側の欄に番号が入っている科目が専門科目

	コード		授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
	HZ800100	共通科目	最先端研究特講	State-of-the-art research special lecture	2	通年	柴 祐司	講義
	HZ900200		知財管理特講	Intellectual Property Management	2	前期	松山 紀里子	講義
	HM800100	専攻共通科目	生命倫理・研究倫理特論	Advanced Methods in Bioethics and Research Integrity	2	前期	古庄 知己	講義
	HM900100		医学統計・疫学特論	Advanced Methods in Statistics in Medicine and Epidemiology	2	前期	野見山 哲生	講義
	HM900200	分野共通科目	生涯保健学研究法特論	Advanced Methods in Lifespan Health Sciences	2	前期	木村 貞治	講義
	HM180100		医科学研究遂行特論	Advanced Methods in Medical Research	2	前期	駒津 光久	講義
	HM190100		形態学研究方法特論	Advanced Methods in Morphological Research	2	前期	福島 菜奈恵	講義
	HM190200		免疫学研究方法特論	Advanced Methods in Immunology	2	前期	山条 秀樹	講義
	HM190300		生化学・分子生物学研究方法特論	Advanced Methods in Biochemistry and Molecular Biology	2	前期	平塚 佐千枝	講義
	HM190400		人類遺伝学研究方法特論	Advanced Methods in Human Genetics	2	前期	古庄 知己	講義
	HM190500		薬理・生理学研究方法特論	Advanced Methods in Physiology and Pharmacology	2	前期	沢村 達也	講義
	HM190600		神経科学研究方法特論	Advanced Methods in Neuroscience	2	前期	田渕 克彦	講義
	HM190700		腫瘍学研究方法特論	Advanced Methods in Medical Oncology	2	前期	牧島 秀樹	講義
1	HM101100	組織発生学	再生医学特論	Regenerative Medicine	2	通年	城倉 浩平	講義
2	HM101200		発生学特論	Embryology	2	通年	城倉 浩平	講義
3	HM101300		細胞生物学特論	Cell Biology	2	通年	城倉 浩平	講義
4	HM101800		組織発生学特別研究	Research Thesis in Histology & Embryology	10	通年	城倉 浩平	演習
5	HM101900		組織発生学論文演習	Thesis Seminar in Histology & Embryology	2	通年	城倉 浩平	演習
6	HM102100	人体構造学	神経解剖学特論	Neuroanatomy	3	通年	福島 菜奈恵	講義
7	HM102200		神経発生・再生学特論	Advanced Methods in Development and Regeneration of the Nervous System	3	通年	福島 菜奈恵	講義
8	HM102800		人体構造学特別研究	Research Thesis in Anatomy	10	通年	福島 菜奈恵	演習
9	HM102900		人体構造学論文演習	Thesis Seminar in Anatomy	2	通年	福島 菜奈恵	演習
10	HM103100	病理組織学	病理解剖・組織学特論	Anatomic Pathology & Histopathology	2	通年	菅野 祐幸	講義
11	HM103200		免疫病理学特論	Immunopathology	2	通年	菅野 祐幸	講義
12	HM103300		腫瘍病理学特論	Tumor Pathology	2	通年	菅野 祐幸	講義
13	HM103800		病理組織学特別研究	Research Thesis in Pathology	10	通年	菅野 祐幸	演習
14	HM103900		病理組織学論文演習	Thesis Seminar in Pathology	2	通年	菅野 祐幸	演習
15	HM104100	寄生虫感染症学	寄生原虫学特論	Protozoology	4	通年	(奥山 隆平)	講義
16	HM104200		寄生虫免疫学特論	Parasite Immunology	2	通年	(奥山 隆平)	講義
17	HM104800		寄生虫感染症学特別研究	Research Thesis in Parasitology	10	通年	(奥山 隆平)	演習
18	HM104900		寄生虫感染症学論文演習	Thesis Seminar in Parasitology	2	通年	(奥山 隆平)	演習
19	HM105100	分子病態学	細胞生命科学特論	Cell Biology	3	通年	沢村 達也	講義
20	HM105200		分子生命科学特論	Molecular Biology	3	通年	沢村 達也	講義
21	HM105800		分子病態学特別研究	Research Thesis in Molecular Pathophysiology	10	通年	沢村 達也	演習
22	HM105801		分子病態学特別研究	Research Thesis in Molecular Pathophysiology	10	通年	青山 琢磨	演習
23	HM105900		分子病態学論文演習	Thesis Seminar in Molecular Pathophysiology	2	通年	沢村 達也	演習
24	HM106100	分子細胞生理学	一般生理学特論	General Physiology	2	通年	田渕 克彦	講義
25	HM106200		神経生理学特論	Neurophysiology	2	通年	田渕 克彦	講義
26	HM106300		病態生理学特論	Pathophysiology	2	通年	田渕 克彦	講義
27	HM106800		分子細胞生理学特別研究	Research Thesis in Molecular & Cellular Physiology	10	通年	田渕 克彦	演習
28	HM106900		分子細胞生理学論文演習	Thesis Seminar in Molecular & Cellular Physiology	2	通年	田渕 克彦	演習
29	HM139100	分子医化学	分子生物学基礎特論	Molecular Biology, Basic	2	通年	平塚 佐千枝	講義
30	HM139200		分子生物学応用特論	Molecular Biology, application in tumor biology	2	通年	平塚 佐千枝	講義
31	HM139300		分子生物学動物実験特論	Animal Models in Molecular Biology	2	通年	平塚 佐千枝	講義
32	HM139800		分子医化学特別研究	Research Thesis in Biochemistry and Molecular Biology	10	通年	平塚 佐千枝	演習
33	HM139900		分子医化学論文演習	Thesis Seminar in Biochemistry and Molecular Biology	2	通年	平塚 佐千枝	演習

*一番左側の欄に番号が入っている科目が専門科目

	コード		授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
34	HM107100	臨床薬理学	実験薬理学特論	Experimental Pharmacology	2	通年	富田 拓郎	講義
35	HM107200		臨床薬理学特論	Clinical Pharmacology	2	通年	富田 拓郎	講義
36	HM107300		分子薬物動態学特論	Advanced Methods in Molecular Pharmacokinetics	2	通年	内藤 隆文	講義
37	HM107801		分子薬理学特別研究(薬理)	Research Thesis in Molecular Pharmacology	10	通年	富田 拓郎	演習
38	HM107802		分子薬理学特別研究(薬剤)	Research Thesis in Molecular Pharmacology	10	通年	内藤 隆文	演習
39	HM107900		分子薬理学論文演習	Thesis Seminar in Molecular Pharmacology	2	通年	富田 拓郎	演習
40	HM108100	免疫・微生物学	細菌学特論	Bacteriology	3	通年	小嶋 克彦	講義
41	HM108200		ウイルス学特論	Virology	3	通年	小嶋 克彦	講義
42	HM108800		免疫・微生物学特別研究	Research Thesis in Microbiology and Immunology	10	通年	小嶋 克彦	演習
43	HM108900		免疫・微生物学論文演習	Thesis Seminar in Microbiology and Immunology	2	通年	小嶋 克彦	演習
44	HM109100		分子生体防御学特論	Molecular Immunology	4	通年	山条 秀樹	講義
45	HM109200	免疫制御学	移植免疫学特論	Transplantation Immunology	2	通年	山条 秀樹	講義
46	HM109800		免疫制御学特別研究	Research Thesis in Molecular and Cellular Immunology	10	通年	山条 秀樹	演習
47	HM109900		免疫制御学論文演習	Thesis Seminar in Molecular and Cellular Immunology	2	通年	山条 秀樹	演習
48	HM110100	内科学 1	呼吸器・感染症・アレルギー内科学特論	Advanced Methods in Diagnosis of Respiratory, Infectious, and Allergic Diseases	2	通年	花岡 正幸	講義
49	HM110200		呼吸器・感染症・アレルギー内科学治療学特論	Advanced Methods in Treatment of Respiratory, Infectious, and Allergic Diseases	2	通年	花岡 正幸	講義
50	HM110300		内科学特論	Internal Medicine	2	通年	花岡 正幸	講義
51	HM110800		呼吸器・感染症・アレルギー内科学特別研究	Research Thesis in Respiratory, Infectious, and Allergic Diseases	10	通年	花岡 正幸	演習
52	HM110900		呼吸器・感染症・アレルギー内科学論文演習	Thesis Seminar in Respiratory, Infectious, and Allergic Diseases	2	通年	花岡 正幸	演習
53	HM111100	内科学 2	消化器・腎臓内科学特論	Gastroenterology and Nephrology	2	通年	岩谷 勇吾	講義
54	HM111200		消化器・腎臓内科診断学特論	Diagnostics in Gastroenterology and Nephrology	2	通年	岩谷 勇吾	講義
55	HM111300		消化器・腎臓内科治療学特論	Therapeutics in Gastroenterology and Nephrology	2	通年	岩谷 勇吾	講義
56	HM111800		消化器・腎臓内科学特別研究	Research Thesis in Gastroenterology and Nephrology	10	通年	岩谷 勇吾	演習
57	HM111900		消化器・腎臓内科学論文演習	Thesis Seminar in Gastroenterology and Nephrology	2	通年	岩谷 勇吾	演習
58	HM112100	内科学 3	神経・リウマチ膠原病内科学特論	Neurology and Rheumatology	2	通年	関島 良樹	講義
59	HM112200		神経内科診断学特論	Neurological Diagnosis	2	通年	関島 良樹	講義
60	HM112300		神経内科治療学特論	Neurological Therapeutics	2	通年	関島 良樹	講義
61	HM112800		神経・リウマチ膠原病内科学特別研究	Research Thesis in Neurology and Rheumatology	10	通年	関島 良樹	演習
62	HM112900		神経・リウマチ膠原病内科学論文演習	Thesis Seminar in Neurology and Rheumatology	2	通年	関島 良樹	演習
63	HM113100	内科学 4	加齢代謝内分泌学特論	Endocrinology and Metabolism in Aging Medicine	2	通年	駒津 光久	講義
64	HM113200		代謝内分泌制御論理学特論	Logical metabolism and Endocrinology	2	通年	駒津 光久	講義
65	HM113300		代謝内分泌実践学特論	Applied Endocrinology	2	通年	駒津 光久	講義
66	HM113800		加齢代謝内分泌学特別研究	Research Thesis in Biomedicine of Endocrinology and Metabolism in Aging Medicine	10	通年	駒津 光久	演習
67	HM113900		加齢代謝内分泌学論文演習	Thesis Seminar in Biomedicine of Endocrinology and Metabolism in Aging Medicine	2	通年	駒津 光久	演習
68	HM114100	内科学 5	臓器・細胞再生工学特論	Organ and Tissue Regenerative Engineering	4	通年	桑原 宏一郎	講義
69	HM114200		臓器微小循環学特論	Advanced Methods in Organ Microcirculation	2	通年	元木 博彦	講義
70	HM114800		循環器内科学特別研究	Research Thesis in Cardiovascular Medicine	10	通年	桑原 宏一郎	演習
71	HM114900		循環器内科学論文演習	Thesis Seminar in Cardiovascular Medicine	2	通年	桑原 宏一郎	演習
72	HM115100	皮膚科学	皮膚免疫アレルギー学特論	Immunology and Allergology in Dermatology	3	通年	奥山 隆平	講義
73	HM115200		皮膚腫瘍学特論	Skin Tumor	3	通年	奥山 隆平	講義
74	HM115800		皮膚科学特別研究	Research Thesis in Dermatology	10	通年	奥山 隆平	演習
75	HM115900		皮膚科学論文演習	Thesis Seminar in Dermatology	2	通年	奥山 隆平	演習
76	HM116100	画像医学	放射線診断学特論	Advanced Course in Diagnostic Radiology	2	通年	藤永 康成	講義
77	HM116200		放射線治療学特論	Advanced Course in Radiation Oncology	2	通年	小岩井 慶一郎	講義
78	HM116300		放射線基礎医学特論	Advanced Course in Radiology Fundamentals	2	通年	柳澤 新	講義
79	HM116800		画像医学特別研究	Research Thesis in Radiologic Researches	10	通年	藤永 康成	演習
80	HM116900		画像医学論文演習	Thesis Seminar in Radiologic	2	通年	藤永 康成	演習
81	HM117100	外科学	消化器外科腫瘍学特論	Gastroenterological Surgical Oncology	2	通年	副島 雄二	講義
82	HM117200		消化器移植・再生医学特論	Transplantation & Tissue Engineering in GI System	4	通年	副島 雄二	講義
83	HM117800		消化器外科学特別研究	Research Thesis in Gastroenterological Surgery	10	通年	副島 雄二	演習
84	HM117900		消化器外科学論文演習	Thesis Seminar in Gastroenterological Surgery	2	通年	副島 雄二	演習

*一番左側の欄に番号が入っている科目が専門科目

	コード		授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
85	HM118100	産科婦人科学	産科学特論	Selected Topics in Obstetrics	2	通年	浅香 亮一	講義
86	HM118200		内分泌学特論	Selected Topics in Gynecologic Endocrinology	2	通年	宮本 強	講義
87	HM118300		婦人科学特論	Selected Topics in Gynecologic Oncology	2	通年	宮本 強	講義
88	HM118800		産科婦人科特別研究	Research Thesis in Methods for Obstetrics and Gynecology	10	通年	宮本 強	演習
89	HM118900		産科婦人科論文演習	Thesis Seminar in Obstetrics and Gynecology	2	通年	宮本 強	演習
90	HM119100	泌尿器科学	泌尿器科学特論	Urology	2	通年	秋山 佳之	講義
91	HM119200		泌尿器科腫瘍学特論	Urologic Oncology	2	通年	秋山 佳之	講義
92	HM119300		泌尿器科手術学特論	Urologic Surgery	2	通年	秋山 佳之	講義
93	HM119800		泌尿器科学特別研究	Research Thesis in Urology	10	通年	秋山 佳之	演習
94	HM119900		泌尿器科学論文演習	Thesis Seminar in Urology	2	通年	秋山 佳之	演習
95	HM120100	形成再建外科学	形成再建外科学特論	Advanced Course in Plastic and Reconstructive Surgery	4	通年	杠 俊介	講義
96	HM120200		熱傷学特論	Advanced Course in Burn Injury	2	通年	杠 俊介	講義
97	HM120800		形成再建外科学特別研究	Research Thesis in and Reconstructive Surgery	10	通年	杠 俊介	演習
98	HM120900		形成再建外科学論文演習	Thesis Seminar in Plastic and Reconstructive Surgery	2	通年	杠 俊介	演習
99	HM121100	麻酔蘇生学	麻酔科学特論	Anesthesiology	2	通年	田中 聡	講義
100	HM121200		麻酔・循環学特論	Anesthetics and Circulation	2	通年	田中 聡	講義
101	HM121300		麻酔・神経科学特論	Neuroanesthesia	2	通年	石田 高志	講義
102	HM121800		麻酔科学特別研究	Research Thesis in Anesthesiology	10	通年	田中 聡	演習
103	HM121900		麻酔科学論文演習	Thesis Seminar in Anesthesiology	2	通年	田中 聡	演習
104	HM122100	精神医学	精神医学特論	Advanced Course on Psychiatry	2	通年	鷺塚 伸介	講義
105	HM122200		精神医学診断学特論	Advanced Course on Psychiatric Diagnostics	2	通年	鷺塚 伸介	講義
106	HM122300		精神科治療学特論	Advanced Course on Psychiatric Therapeutics	2	通年	鷺塚 伸介	講義
107	HM122800		精神医学特別研究	Research Thesis in Program for Psychiatry	10	通年	鷺塚 伸介	演習
108	HM122900		精神医学論文演習	Thesis Seminar in Psychiatric Research Papers	2	通年	鷺塚 伸介	演習
109	HM123100	眼科学	眼病理学特論	Ocular Physiology	2	通年	平野 隆雄	講義
110	HM123200		眼生化学特論	Ocular Biochemistry	2	通年	平野 隆雄	講義
111	HM123300		眼科診断治療学特論	Diagnosis and Therapy in Ophthalmology	2	通年	村田 敏規	講義
112	HM123800		眼科学特別研究	Research Thesis in Ophthalmology	10	通年	村田 敏規	演習
113	HM123900		眼科学論文演習	Thesis Seminar in Ophthalmology	2	通年	村田 敏規	演習
114	HM124100	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	分子遺伝学特論	Molecular Genetics	2	通年	塚田 景大	講義
115	HM124200		神経耳科学特論	Neuro-Otology	2	通年	塚田 景大	講義
116	HM124300		聴覚医学特論	Audiology	2	通年	鬼頭 良輔	講義
117	HM124800		耳鼻咽喉科学特別研究	Research Thesis in Otorhinolaryngology	10	通年	工 穰	演習
118	HM124900		耳鼻咽喉科学論文演習	Thesis Seminar in Otorhinolaryngology	2	通年	工 穰	演習
119	HM125100	遺伝医学	予防医学特論	Preventive Medicine	2	通年	古庄 知己	講義
120	HM125200		遺伝医学特論	Medical Genetics	4	通年	古庄 知己	講義
121	HM125800		遺伝医学・予防医学特別研究	Research Thesis in Medical Genetics and Preventive Medicine	10	通年	古庄 知己	演習
122	HM125900		遺伝医学・予防医学論文演習	Thesis Seminar in Medical Genetics and Preventive Medicine	2	通年	古庄 知己	演習
123	HM126100		衛生学特論	Preventive Medicine	2	通年	野見山 哲生	講義
124	HM126200	衛生学公衆衛生学	疫学特論	Epidemiology	2	通年	野見山 哲生	講義
125	HM126300		公衆衛生学特論	Public Health	2	通年	野見山 哲生	講義
126	HM126800		衛生学公衆衛生学特別研究	Research Thesis in Preventive Medicine and Public Health	10	通年	野見山 哲生	演習
127	HM126900		衛生学公衆衛生学論文演習	Thesis Seminar in Preventive Medicine and Public Health	2	通年	野見山 哲生	演習
128	HM127100		地域医療情報学特論	Community Telemedicine	2	通年	北口 良晃	講義
129	HM127200	医学教育学	医学情報教育学特論	Medical Informatics	2	通年	北口 良晃	講義
130	HM127300		医学教育学特論	Medical education	2	通年	森 淳一郎	講義
131	HM127800		医学教育学特別研究	Research Thesis in Medical Education	10	通年	森 淳一郎	演習
132	HM127900		医学教育学論文演習	Thesis Seminar in Medical Education	2	通年	森 淳一郎	演習

*一番左側の欄に番号が入っている科目が専門科目

	コード		授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
133	HM128100	病態解析診断学	臨床血液学特論	Clinical Hematology	2	通年	上原 剛	講義
134	HM128200		遺伝子診断学特論	Molecular Pathology and Cytogenetics	2	通年	上原 剛	講義
135	HM128300		診断病理学特論	Surgical Pathology	2	通年	上原 剛	講義
136	HM128800		病態解析診断学特別研究	Research Thesis in Laboratory Medicine	10	通年	上原 剛	演習
137	HM128900		病態解析診断学論文演習	Thesis Seminar in Laboratory Medicine	2	通年	上原 剛	演習
138	HM129100	法医学	臨床法医学特論	Clinical Forensic Medicine	2	通年	浅村 英樹	講義
139	HM129200		死因究明診断学特論	Death Investigation Causes	2	通年	浅村 英樹	講義
140	HM129300		法医遺伝子学特論	Forensic Genetics	2	通年	原山 雄太	講義
141	HM129800		法医学特別研究	Research Thesis in Legal Medicine	10	通年	浅村 英樹	演習
142	HM129900		法医学論文演習	Thesis Seminar in Legal Medicine	2	通年	浅村 英樹	演習
143	HM130100	救急集中治療医学	救急医学特論	Emergency Medicine	2	通年	今村 浩	講義
144	HM130200		集中治療医学特論	Intensive Care Medicine	2	通年	今村 浩	講義
145	HM130300		災害医学特論	Disaster Medicine	2	通年	今村 浩	講義
146	HM130800		救急集中治療医学特別研究	Research Thesis in Emergency and Intensive Care Medicine	10	通年	今村 浩	演習
147	HM130900		救急集中治療医学論文演習	Thesis Seminar in Emergency and Intensive Care Medicine	2	通年	今村 浩	演習
148	HM131100	血液・腫瘍内科学	血液・臨床腫瘍学特論	Hematology and Medical Oncology	2	通年	牧島 秀樹	講義
149	HM131200		放射線腫瘍学特論	Radiotherapy	2	通年	小岩井 慶一郎	講義
150	HM131300		緩和医療学特論	Palliative Care	2	通年	田中 聡	講義
151	HM131800		血液・臨床腫瘍学特別研究	Research Thesis in Hematology and Medical Oncology	10	通年	牧島 秀樹	演習
152	HM131900		血液・臨床腫瘍学論文演習	Thesis Seminar in Hematology and Medical Oncology	2	通年	牧島 秀樹	演習
153	HM133100	分子病理学	分子病理学特論	Molecular Pathology	2	通年	川久保 雅友	講義
154	HM133200		糖鎖生物学特論	Glycobiology	2	通年	川久保 雅友	講義
155	HM133300		腫瘍病理学特論	Advanced Methods in Tumor Pathology	2	通年	藤井 千文	講義
156	HM133800		分子病理学特別研究	Research Thesis in Molecular Pathology	10	通年	菅野 祐幸	演習
157	HM133900		分子病理学論文演習	Thesis Seminar in Molecular Pathology	2	通年	藤井 千文	演習
158	HM134100	循環病態学	循環病態学特論	Cardiovascular Research	3	通年	新藤 隆行	講義
159	HM134200		発生工学特論	Advanced Methods in Developmental Engineering	3	通年	新藤 隆行	講義
160	HM134800		循環病態学特別研究	Research Thesis in Cardiovascular Research	10	通年	新藤 隆行	演習
161	HM134900		循環病態学論文演習	Thesis Seminar in Cardiovascular Research	2	通年	新藤 隆行	演習
162	HM135100	国際代謝制御学	脂質生化学特論	Advanced Methods in Lipid Biochemistry	2	通年	田中 直樹	講義
163	HM135200		消化器病医化学特論	Medical Biochemistry for Gastroenterology	2	通年	田中 直樹	講義
164	HM135300		代謝性疾患医化学特論	Medical Biochemistry for Metabolic Disease	2	通年	田中 直樹	講義
165	HM135800		代謝制御学特別研究	Research Thesis in Metabolic Regulation	10	通年	田中 直樹	演習
166	HM135900		代謝制御学論文演習	Thesis Seminar in for Metabolic Regulation	2	通年	田中 直樹	演習
167	HM136100	スポーツ医科学	スポーツ医科学特論	Sports Medical Sciences	3	通年	増木 静江	講義
168	HM136200		運動生理学特論	Advanced Methods in Exercise Physiology	3	通年	増木 静江	講義
169	HM136800		スポーツ医科学特別研究	Research Thesis in Sports Medical Sciences	10	通年	増木 静江	演習
170	HM136900		スポーツ医科学論文演習	Thesis Seminar in Sports Medical Sciences	2	通年	増木 静江	演習
171	HM137100	健康促進学	健康心理学特論	Health Psychology	2	通年	高橋 知音	講義
172	HM137200		健康教育学特論	Health Educaiton seminar	2	通年	友川 幸	講義
173	HM137300		予防老年学特論	Preventive Gerontology	2	通年	島田 裕之	講義
174	HM137400		発達精神病理学特論	Advanced Methods in Developmental Psychopathology	2	通年	高橋 史	講義
175	HM137800		健康促進学特別研究	Research Thesis in Health Promotion Science	10	通年	高橋 知音	演習
176	HM137900		健康促進学論文演習	Thesis Seminar in Health Promotion Science	2	通年	高橋 知音	演習

(3) 生命医工学専攻4年制コース開設科目一覧

コード	授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
HZ800100	最先端研究特講	State-of-the-art research special lecture	2	通年	柴 祐司	講義
HZ900200	知財管理特講	Intellectual Property Management	2	前期	松山 紀里子	講義
HB800100	社会医工学特論	Advanced social biomedical engineering	2	通年	植村 健	講義
HB800200	イノベーションセミナー	Innovation seminar	2	後期	植村 健	演習
HB910000	長期インターンシップ (1単位)	Long-term Internship	1	通年	栗田 浩	実習
HB920000	長期インターンシップ (2単位)	Long-term Internship	2	通年	栗田 浩	実習

【生命工学分野】

コード	授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
2 HB380102	生命工学特別演習 I	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar I	2	通年	瀬戸 達一郎	演習
3 HB380103	生命工学特別演習 I	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar I	2	通年	伊藤 研一	演習
4 HB380106	生命工学特別演習 I	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar I	2	通年	清水 公裕	演習
5 HB380104	生命工学特別演習 I	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar I	2	通年	柴 祐司	演習
6 HB380105	生命工学特別演習 I	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar I	2	通年	中沢 洋三	演習
8 HB380202	生命工学特別演習 II	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar II	2	通年	瀬戸 達一郎	演習
9 HB380203	生命工学特別演習 II	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar II	2	通年	伊藤 研一	演習
10 HB380206	生命工学特別演習 II	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar II	2	通年	清水 公裕	演習
11 HB380204	生命工学特別演習 II	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar II	2	通年	柴 祐司	演習
12 HB380205	生命工学特別演習 II	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar II	2	通年	中沢 洋三	演習
14 HB381102	生命工学特別演習 III	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar III	4	通年	瀬戸 達一郎	演習
15 HB381103	生命工学特別演習 III	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar III	4	通年	伊藤 研一	演習
16 HB381106	生命工学特別演習 III	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar III	4	通年	清水 公裕	演習
17 HB381104	生命工学特別演習 III	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar III	4	通年	柴 祐司	演習
18 HB381105	生命工学特別演習 III	Advanced Life Technology Biotechnology Seminar III	4	通年	中沢 洋三	演習
19 HB381200	生命倫理・研究倫理特論	Advanced Methods in Bioethics and Research Integrity	2	前期	古庄 知己	講義
20 HB381300	医科学研究遂行特論	Advanced Methods in Medical Research	2	前期	駒津 光久	講義
21 HB390100	医学統計・疫学特論	Advanced Methods in Statistics in Medicine and Epidemiology	2	前期	野見山 哲生	講義
22 HB390200	生涯保健学研究法特論	Advanced Methods in Lifespan Health Sciences	2	前期	木村 貞治	講義
23 HB390300	形態学研究方法特論	Advanced Methods in Morphological Research	2	前期	福島 菜奈恵	講義
24 HB390400	免疫学研究方法特論	Advanced Methods in Immunology	2	前期	山条 秀樹	講義
25 HB390500	生化学・分子生物学研究方法特論	Advanced Methods in Biochemistry and Molecular Biology	2	前期	平塚 佐千枝	講義
26 HB390600	人類遺伝学研究方法特論	Advanced Methods in Human Genetics	2	前期	古庄 知己	講義
27 HB390700	薬理・生理学研究方法特論	Advanced Methods in Physiology and Pharmacology	2	前期	沢村 達也	講義
28 HB390800	神経科学研究方法特論	Advanced Methods in Neuroscience	2	前期	田淵 克彦	講義
29 HB390900	腫瘍学研究方法特論	Advanced Methods in Medical Oncology	2	前期	牧島 秀樹	講義
33 HB392100	心臓血管外科学特論	cardiovascular surgery	2	通年	瀬戸 達一郎	講義
34 HB392200	補助循環特論	circulatory accist deveice	2	通年	瀬戸 達一郎	講義
35 HB392300	低侵襲血管外科学特論	Minimally invasive vascular surgery	2	通年	瀬戸 達一郎	講義
36 HB392400	乳腺外科学特論	Breast Surgery	2	通年	伊藤 研一	講義
37 HB392500	甲状腺外科学特論	Thyroid Surgery	2	通年	伊藤 研一	講義

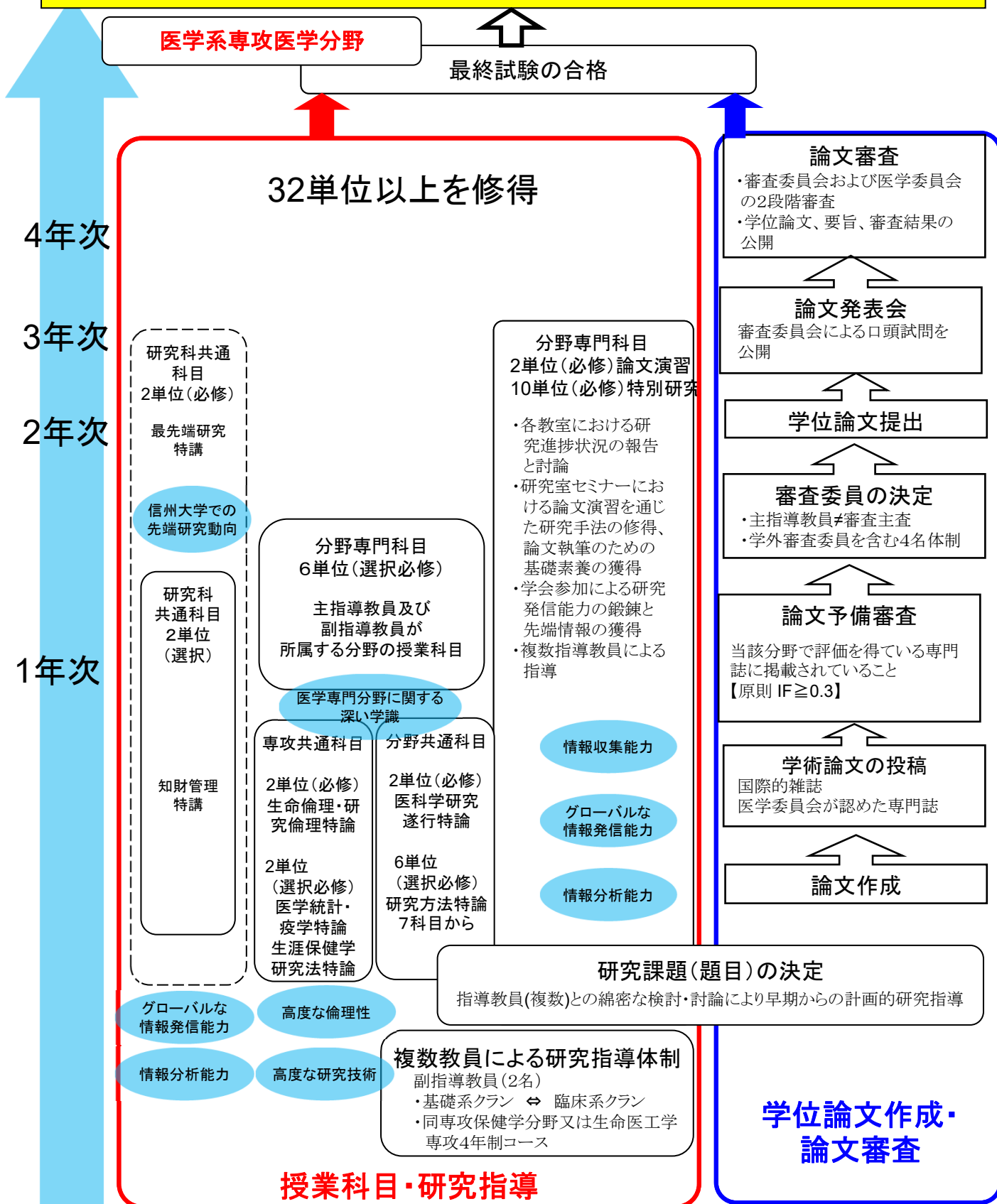
	コード		授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
38	HB392600	専門科目 III	呼吸器外科学特論	Respiratory Surgery	2	通年	清水 公裕	講義
39	HB393100		幹細胞生物学特論	Stem Cell Biology	4	通年	柴 祐司	講義
40	HB393200		循環器再生医療学特論	Cardiovascular Regenerative Medicine	2	通年	柴 祐司	講義
41	HB394100		成長・発達医学特論	growth and development	2	通年	中沢 洋三	講義
42	HB394200		臨床免疫・感染症学特論	clinical immunology and infectious diseases	2	通年	中沢 洋三	講義
43	HB394300		遺伝子・細胞治療学特論	gene and cell therapy	2	通年	中沢 洋三	講義

【生体医工学分野】

	コード		授業科目	授業科目 (英字)	単位数	開講期	代表担当教員	授業形態
1	HB480102	分野共通科目	生体医工学特別演習Ⅰ	Advanced Biomedical Engineering Seminar I	2	通年	高橋 淳	演習
2	HB480103		生体医工学特別演習Ⅰ	Advanced Biomedical Engineering Seminar I	2	通年	堀内 哲吉	演習
3	HB480104		生体医工学特別演習Ⅰ	Advanced Biomedical Engineering Seminar I	2	通年	栗田 浩	演習
4	HB480105		生体医工学特別演習Ⅰ	Advanced Biomedical Engineering Seminar I	2	通年	植村 健	演習
5	HB480202		生体医工学特別演習Ⅱ	Advanced Biomedical Engineering Seminar II	2	通年	高橋 淳	演習
6	HB480203		生体医工学特別演習Ⅱ	Advanced Biomedical Engineering Seminar II	2	通年	堀内 哲吉	演習
7	HB480204		生体医工学特別演習Ⅱ	Advanced Biomedical Engineering Seminar II	2	通年	栗田 浩	演習
8	HB480205		生体医工学特別演習Ⅱ	Advanced Biomedical Engineering Seminar II	2	通年	植村 健	演習
9	HB481102	専門科目必修	生体医工学特別演習Ⅲ	Advanced Biomedical Engineering Seminar III	4	通年	高橋 淳	演習
10	HB481103		生体医工学特別演習Ⅲ	Advanced Biomedical Engineering Seminar III	4	通年	堀内 哲吉	演習
11	HB481104		生体医工学特別演習Ⅲ	Advanced Biomedical Engineering Seminar III	4	通年	栗田 浩	演習
12	HB481105		生体医工学特別演習Ⅲ	Advanced Biomedical Engineering Seminar III	4	通年	植村 健	演習
13	HB381200		生命倫理・研究倫理特論	Advanced Methods in Bioethics and Research Integrity	2	前期	古庄 知己	講義
14	HB381300	専門科目Ⅰ	医科学研究遂行特論	Advanced Methods in Medical Research	2	前期	駒津 光久	講義
15	HB390100		医学統計・疫学特論	Advanced Methods in Statistics in Medicine and Epidemiology	2	前期	野見山 哲生	講義
16	HB390200		生涯保健学研究法特論	Advanced Methods in Lifespan Health Sciences	2	前期	木村 貞治	講義
17	HB390300		形態学研究方法特論	Advanced Methods in Morphological Research	2	前期	福島 菜奈恵	講義
18	HB390400		免疫学研究方法特論	Advanced Methods in Immunology	2	前期	山条 秀樹	講義
19	HB390500		生化学・分子生物学研究方法特論	Advanced Methods in Biochemistry and Molecular Biology	2	前期	平塚 佐千枝	講義
20	HB390600		人類遺伝学研究方法特論	Advanced Methods in Human Genetics	2	前期	古庄 知己	講義
21	HB390700		薬理・生理学研究方法特論	Advanced Methods in Physiology and Pharmacology	2	前期	沢村 達也	講義
22	HB390800		神経科学研究方法特論	Advanced Methods in Neuroscience	2	前期	田渕 克彦	講義
23	HB390900		腫瘍学研究方法特論	Advanced Methods in Medical Oncology	2	前期	神田 慎太郎	講義
24	HB491101	専門科目Ⅱ	運動器生体医工学特論	Biomedical Engineering of the Musculoskeletal System	2	通年	植村 健	講義
25	HB491201		ナノ生体材料学特論	Nanobiomaterials	2	通年	植村 健	講義
26	HB491301		境界生命科学特論	Integrated Life Science	2	通年	植村 健	講義
27	HB492100		脊椎脊髄病学特論	Spine and Spinal Cord Science	2	通年	高橋 淳	講義
28	HB492200		骨軟骨学特論	Bone Cartilage Science	2	通年	高橋 淳	講義
29	HB492300		腱靱帯末梢神経学特論	Tendon Ligament Peripheral Neurology	2	通年	高橋 淳	講義
30	HB493100		脳神経外科特論	Neurosurgery	2	通年	堀内 哲吉	講義
31	HB493200		脳卒中外科学特論	Cerebral apoplexy	2	通年	堀内 哲吉	講義
32	HB493300		脳腫瘍学特論	Brain tumor	2	通年	堀内 哲吉	講義
33	HB494100		歯科口腔外科特論	Dentistry and Oral Sugery	2	通年	栗田 浩	講義
34	HB494200		歯科人工/生体材料学特論	Artificial and Biological materials	2	通年	栗田 浩	講義
35	HB494300		咬合学特論	Gnatho-Occlusion Science	2	通年	栗田 浩	講義

医学系専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、以下の知識と能力等を充分培い、かつ分野ごとに定められた学位授与方針に適合知識と能力等を有する学生に、**医学分野では「博士(医学)」**、保健学分野では「博士(保健学)」の学位を授与します。

1. 医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能
2. 医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力
3. 医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力



1. 世界をリードする科学・医療・健康・福祉を担う研究者あるいは高度専門職業人を目指す人
2. 疾病の予防・治療、健康長寿、クオリティ・オブ・ライフの向上に寄与することに対して情熱を有する人
3. 高い倫理観と科学性、学際的な幅広い視野に立って、医療・福祉の領域でリーダーシップをとることに意欲のある人

生命医工学専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、以下の知識と能力等を十分培い、かつ、分野ごとに定められた学位授与方針に適合知識と能力等を有する学生に、3年制コースでは「博士(医工学)」、4年制コースでは「博士(医学)」の学位を授与する。

1. 医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能
2. 医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力
3. 医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力

生命医工学専攻4年制コース

最終試験の合格

32単位以上を修得

研究科共通科目
2単位(必修)

最先端研究特講

信州大学での
先端研究動向

研究科
共通科目
2単位
(選択)

知財管理
特講

グローバルな
情報発信能力

情報分析能力

専攻共通科目
4単位(必修)
社会医工学特論
イノベーションセミナー

分野専門科目
6単位(選択必修)
所属する分野の科目

医学専門分野に関する
深い学識

分野専門科目
4単位(必修)
生命倫理・研究倫理特論
医科学研究遂行特論

2単位(選択必修)
医学統計・疫学特論または
生涯保健学研究法特論

6単位(選択必修)
研究方法特論7科目から
3科目以上

高度な倫理性

高度な研究技術

分野専門科目
2単位(必修)特別演習Ⅲ
分野共通科目
2単位(必修)特別演習Ⅱ
2単位(必修)特別演習Ⅰ

- ・各教室における研究進捗状況の報告と討論
- ・研究室セミナーにおける論文演習を通じた研究手法の修得、論文執筆のための基礎素養の獲得
- ・学会参加による研究発信能力の鍛錬と先端情報の獲得
- ・複数指導教員による指導

情報収集能力

グローバルな
情報発信能力

情報分析能力

研究課題の決定

指導教員(複数)との綿密な検討・討論により早期からの計画的な研究指導

複数教員による研究指導体制

- 副指導教員(2名)
- ・同専攻同分野の3年制コース
- ・同専攻4年制コース(分野問わず)
- 又は医学系専攻医学分野

授業科目・研究指導

論文審査

- ・審査委員会、4年制コース委員会、生命医工学委員会の3段階審査
- ・学位論文、要旨、審査結果の公開

論文発表会

審査委員会による口頭試問を公開
同専攻3年制コースにも公開

学位論文提出

審査委員の決定

- ・主指導教員≠審査主査
- ・学外審査委員を含む4名体制

論文予備審査

当該分野で評価を得ている専門誌に掲載されていること
【原則 IF $\geq$ 0.3】

学術論文の投稿

国際的雑誌
4年制コース委員会が認めた専門誌

論文作成

学位論文作成・
論文審査

1. 世界をリードする科学・医療・健康・福祉を担う研究者あるいは高度専門職業人を目指す人
2. 境界領域の専門知識・技術を身につけ、広範囲なレベルの高い科学に触れ、新産業を創出し、世界の学術を牽引していく意欲のある人

前期								後期									
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考
4			1	2	3	④	5	4日 入学式 14日 前期授業開始 15日 健康診断（社会人除く）	10				1	2	3	4	
	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11	
	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18	
	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25	
	27	28	29	30						26	27	28	29	30	31		
5					1	2	3		11							1	
	4	5	6	7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	
										30							
6	1	2	3	4	5	6	7	1日 開学記念日	12		1	2	3	4	5	6	27日～ 冬季休業(1/4まで)
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
7			1	2	3	4	5	30～31日 期末試験期間	1					1	2	3	16日 臨時休業日 (大学入学共通テスト準備) 26～30日 期末試験期間 31日～ 春季休業(3/31まで)
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	
8						1	2	1～5日 期末試験期間 6日～ 夏季休業(9/28まで) 授業期間外であるが、医学系専攻医学分野および生命医工学専攻4年制コースの共通授業開講日あり（別紙参照）	2	1	2	3	4	5	6	7	
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30										
	31																
9		1	2	3	4	5	6	授業期間外であるが、医学系専攻医学分野および生命医工学専攻4年制コースの共通授業開講日あり（別紙参照） 29日～ 後期授業開始	3	1	2	3	4	5	6	7	
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30							29	30	31					

前期授業期間（期末試験期間含む）：4月14日（月）～8月5日（火）

後期授業期間（期末試験期間含む）：9月29日（月）～1月30日（金）



振替授業日



期末試験期間



休業日

○ 入学式・ガイダンス等

規則・規定

*以下の規則については，信州大学のホームページをご覧ください。

[トップ → 信州大学について → 大学概要・理念 → 信州大学規則集]

<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/>

- 信州大学大学院学則
- 信州大学学位規程
- 信州大学大学院医学系研究科規程
- 信州大学における学生の懲戒に関する規程／信州大学における学生の懲戒に係るガイドライン